

プログラム3

『観光地が創る、安心・安全・楽しめる観光』



公益財団法人 日本交通公社

1. 登壇者のご紹介

西須 紀昭(さいす としあき) 氏 一般社団法人那須塩原市観光局 局長

- 1979年に栃木県入庁。栃木県産業労働観光部観光交流課長、栃木県理事兼とちぎのいいものの販売推進本部本部長などを歴任し、2016年に栃木県退職。
- その後、宇都宮大学COC+(地(知)の拠点大学による地方創生推進事業)の担当特任教授を務め、2020年に(一社)那須塩原市観光局局長に就任、現在に至る。2010年には第3期地域産業おこしに燃える人に選定され、地域産業振興への熱き思いを胸に活動している。

紺田 猛(こんだ たけし) 氏 津久見市観光協会 事務局長

- 大分県津久見市出身。幼少期から野球と、父の影響と地元の環境に恵まれていたため、海遊び、釣りなど、アウトドアに打ち込む。津久見高校(野球部)、九州東海大学(野球部)卒業後、1996年度に津久見市役所へ入庁。
- 長寿支援課、企画商工課、教育委員会などの勤務を経て、2019年度より津久見市観光協会に業務支援として派遣。2021年度より現職。
- 行政職員の兼務であることを活かしつつ、飲食店や商店街、隣接市町村、県も巻き込んで、観光を通じたまちづくりに挑戦している。

公益財団法人日本交通公社

中野 文彦 観光政策研究部 活性化推進室長・上席主任研究員

吉谷地 裕 観光地域研究部 まちづくり室長・主任研究員

観光地が創る、安心・安全・楽しめる観光に向けた、これまでの取組

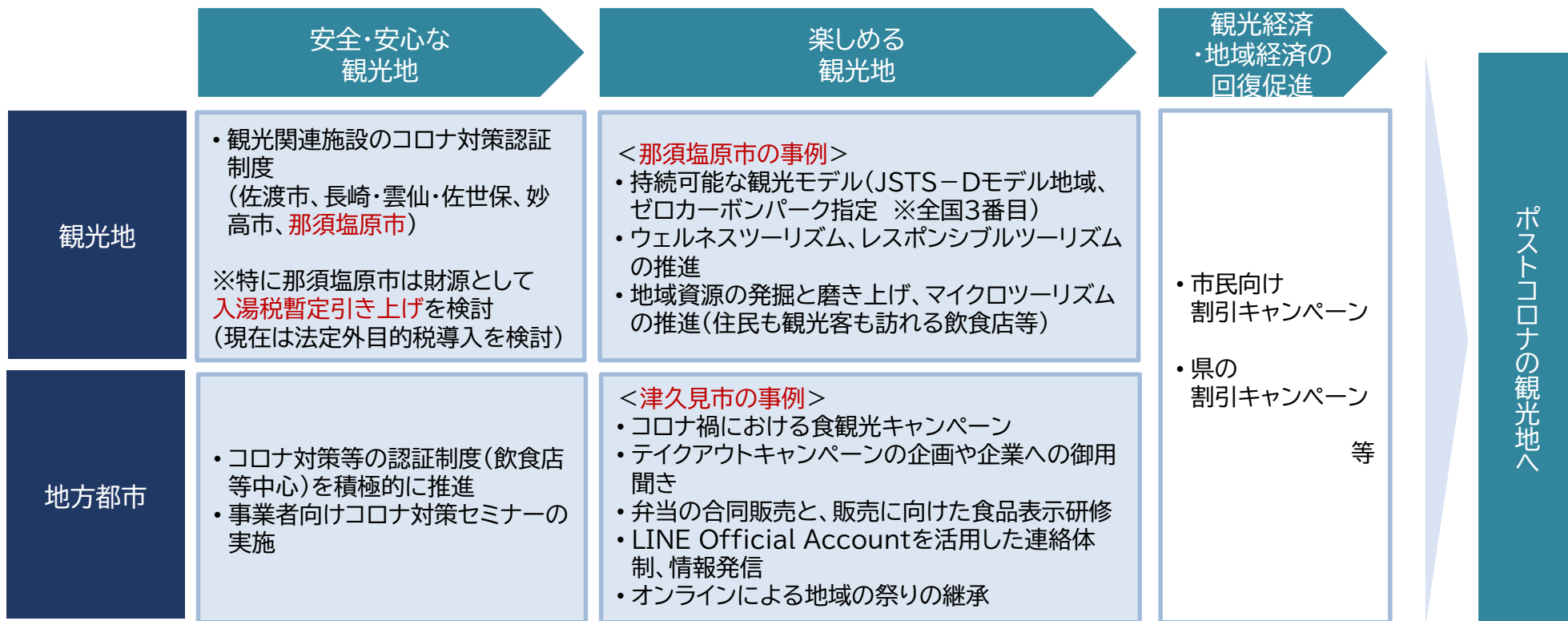
- コロナ禍から1年半が経過しましたが、観光地においては、安心・安全に楽しめる観光を創り出し、観光客を惹きつけ続けることが求められています。
- 本セッションでは、こうした取組を積極的に推進している2つの地域の事例をご紹介しますながら、地域での取組を推進するヒント、特に自治体や観光協会の役割について、皆様と考えて行きたいと思います。

		安全・安心な観光地	楽しめる観光地	観光経済・地域経済の回復促進
国		業界別ガイドライン	各種補助事業(高付加価値、拠点再生、誘客多角化、新しい旅のスタイル等)	ワクチン・検査パッケージ等の検討
都道府県		コロナ対策等の認証制度(飲食店等中心)	各種補助事業	- 県独自の旅行割引 - 県民の県内旅行割引
観光地	自治体	- 観光事業者のコロナ対策支援 - 観光関連施設のコロナ対策認証制度 - 観光従事者のPCR検査、COCOA登録、ワクチン接種 - 観光従事者のコロナ対策研修 - 緊急連絡・対応体制の整備 - 地域住民との信頼関係構築	- 国・県等の補助事業獲得支援 - 各事業実施支援	市民向け旅行割引
	観光協会等		- 地域産の食の魅力強化・発信 - デリバリー、テイクアウト体制の強化 - コロナ対策を徹底した観光、体験の開発・提供 - ワーケーション等新しい旅のスタイルへの対応 - オンラインによるイベントの提供、物販の強化	- 市民、県民向けの情報発信、各種キャンペーン、イベント等 - 県外のリピーター、ファン等とのコミュニケーション
	民間事業者			- ワクチン接種者向けキャンペーン - ポストコロナに向けた観光地づくり

ポストコロナの観光地へ

観光地が創る、安心・安全・楽しめる観光に向けた、これまでの取組

- 本セッションでは、観光地の事例として「栃木県那須塩原市」、地方都市の事例として「大分県津久見市」の2つの事例をご紹介します。
- 那須塩原市は独自の「観光関連施設のコロナ対策認証制度」の設置をはじめ、積極的な「安心・安全」な観光地づくりを進め、津久見市は、大分県の制度を普及しながら「安心・安全」な観光地づくりを進めてきました。
- そして両市は、現在ポストコロナの観光地づくりに向けた積極的な挑戦を始めています。



観光地が創る安心・安全・楽しめる観光 ～那須塩原市の場合～

一般社団法人那須塩原市観光局 局長
西須 紀昭 氏

コロナ禍を身近なファンづくりで乗り越える、 大分県津久見市での取組

津久見市観光協会 事務局長
紺田 猛氏

公益財団法人日本交通公社 まちづくり室長・主任研究員
吉谷地 裕（同協会前事務局長）

まとめ（2地域の事例に見る自治体・観光協会の果たす役割）

1. コロナ禍では**危機感を共有し、スピードの速い対応・意思決定**が重要
（自治体－観光協会－民間事業者の連携）
2. 特に、観光産業、観光客、地域住民の**信頼関係**を創ることが最重要
（観光産業のコロナ対策の見える化、地域住民－観光客－事業者が共に
幸せな状況をどうつくるか）
3. 自治体・観光協会の役割は、**事業推進力、巻き込む力**、民間事業者の取組
を**後ろで支える存在**
（各種支援事業獲得の支援、事業財源・実施に向けた各種調整）
4. 自治体・観光協会の役割は、**ポストコロナの方向性**の提示
（戦略の提示、具体の取組の提示・実施）
5. 自治体・観光協会の役割は、地域の**団結力の継続**
（コロナ禍への対応も、持続可能な観光モデルも、一施設・事業者の取組
では生み出せない。継続できない）

A photograph of an elderly man with glasses, wearing a red patterned shirt and a red tie, giving a thumbs up with both hands. He is seated in front of a dark wood-paneled wall. The text is overlaid on the image.

観光地が創る 安心・安全・楽しめる観光

～那須塩原市の場合～

一般社団法人 那須塩原市観光局
局長 西須 紀昭

西須 紀昭（さいす としあき）
（一社）那須塩原市観光局 局長



東京大学法学部卒

1979年 栃木県庁入庁。

観光交流課長、とちぎのいいものの販売推進
本部事業推進室長などを経て2016年退職。

その後、宇都宮大学特任教授を経て2020
年から現職。

那須塩原市の概要

東京から約150km、栃木県の
北部に位置

東京から新幹線で約70分

面積592.74km²

人口115,511人(R3.4.1現在)



那須塩原市の産業

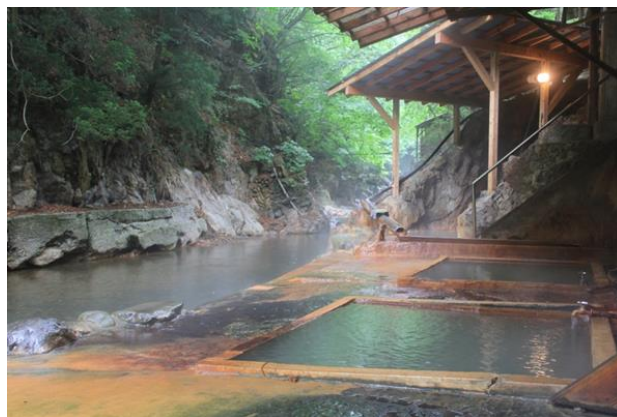
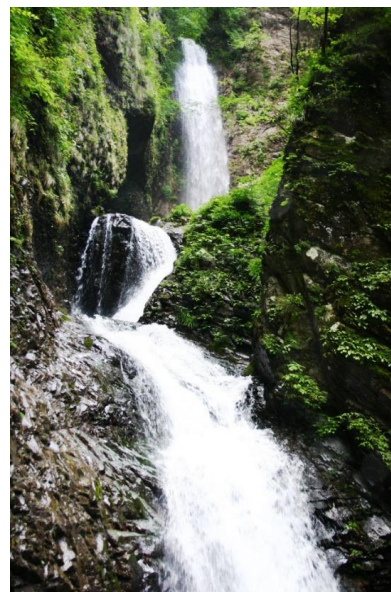
生乳生産本州一を誇る生乳
大根やカブなどの高原野菜
那須ガーデンアウトレット
ブリヂストン、カゴメなどの工場
塩原・板室の2大温泉地



塩原温泉

西暦806年に発見された温泉と伝わり、箒川に沿って11箇所の温泉街がある。明治時代には多くの文人(作家や画家)が訪れた。

日本にある10種類の泉質のうち6種類の泉質と、7色の温泉が楽しめるまさに「温泉の宝石箱」。



板室温泉

西暦1059年に発見されたと伝わり、「下野の薬湯」といわれるアルカリ性単純温泉。

国民保養温泉地にも指定されている由緒ある温泉地。

近年ではアートを取り入れた宿が人気のほか、カヌーなどのアクティビティも盛ん。



那須塩原市の観光におけるコロナの影響

入込数

R2.4 : 154,686人 (昨年806,395人)

R2.5 : 239,075人 (昨年872,227人)

宿泊者数

R2.4 : 9,741人 (昨年73,969人)

R2.5 : 4,621人 (昨年77,720人)

⇒観光産業への大ダメージ

ピンチをチャンスに変え、「コロナ禍」でも前に進むため、市独自の「持続可能な那須塩原市観光モデル」を構築

「持続可能な那須塩原市観光モデル」のポイント

コロナ前⇒需要側の視点が主軸

コロナ禍⇒「住民の安心・安全」と「観光の持続性」が重要な視点

⇒①観光客 ②(観光)事業者③地域住民 の合意形成のもとに進んでいくもの

観光客は大事な「お客様」であるが、観光客の意識や行動にも一定の責任を持っていただくことで観光の「品質」を底上げし、那須地域の観光ブランドイメージを向上させることが重要

「信頼」「ウェルネス」「責任」の3つのキーワードを掲げる





1.信頼（安心・安全）

観光客と地域住民の安心・安全のための感染対策「見える化」の推進

2.ウェルネス（心と身体のケア）

観光客の心と身体を癒し、豊かにする「ウェルネスツーリズム」の推進

3.責任

観光客にも一定の責任を持っていただく「責任ある観光」(レスポンスブルツーリズム)の推進

1.信頼（安心・安全）

観光客と地域住民の安心・安全のための感染対策「見える化」の推進

- 市が構築する感染症対策に取り組む事業所の認証制度創設
- 宿泊事業者のPCR検査の実施
- 市独自の「共助モデル」による館内の消毒、三密回避、マスク着用など感染防止対策の徹底
- 消毒の専門家による感染防止対策講習会の実施
- 市ホームページ等での情報提供
- 市民PCR検査
- 新型コロナウイルス感染症にかかる市民等の人権の擁護に関する条例の制定
- 観光事業者職域接種（一般接種と並行実施）

2.ウェルネス（心と身体のケア）

観光客の心と身体を癒し、**豊かにする**「ウェルネスツーリズム」の推進

■ 自然、食、温泉、文化に触れるONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進

- ・那須塩原市ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催

板室地区(R2.11.7)と塩原温泉地区(R3.5.31)にて開催

■ 仕事と休暇を両立するワーケーションの推進

- ・補助金の活用によるWi-Fi環境の整備及びモニターツアーの実施

■ 都市部からの移住促進

3.責任

観光客にも一定の責任を持っていただく「責任ある観光」（レスポンシブルツーリズム）の推進

- 入湯税の暫定的引き上げ（R2.12.1～R3.9.30）
- 新たな法定外目的税の導入に向けた検討（R3.10～）

「持続可能な那須塩原市観光モデル」の効果

市長のリーダーシップのもと、スピード重視で推進

⇒全国に先駆けた取組として各種メディアにて掲載

⇒安心して旅行することができるとの声

←その一方で、入湯税を引き上げたことによるクレームもあり

←コロナ禍という特殊性もあり、まずは「**日本一安心な観光地**」を目指して取り組んできたが、**本来の「持続可能性」**を考える時期に来ている

「持続可能な那須塩原市観光モデル」の先へ

～アフターコロナを見据えての展望～

「持続可能な観光」「責任観光」を見据え、

地域マイクロ資源の発掘・深掘りで、世界の**ESG共感マーケット**に応える、**質的観光価値創造・拡大と地域経済循環の拡大**（既存観光資源依存量的拡大から転換）

■ E 脱炭素・グリーン

- ・観光庁「日本版持続可能な観光ガイドライン」モデル地区への選出(R3.3)
- ・環境省「ゼロカーボンパーク」への登録(R3.9.24)
- ・世界の持続可能な観光地「TOP100選」への選出(R3.10.5)
- ・移動手段のグリーン化(電気バス実験、レンタe-MTB)
- ・ビニプラ使用削減(温泉街での紙袋化に向けた検討)
- ・再生可能エネルギー等の開発期待(温泉排熱、小水力など)

世界の持続可能な観光地「TOP100選」への選出

持続可能な観光における国際的な認証団体であるグリーン・デスティネーションズが実施する表彰制度「TOP100選」に那須塩原市が選出。

グリーン・デスティネーションズでは、100項目の基準を設けており、この100項目についてのレポート及びPRすべき優良事例についてのレポートを提出し、高評価が得られた場合に入選となる。

「TOP100選」には、毎年世界の100の観光地が選出。日本からの選出地域は以下のとおり。

2018年 釜石市

2020年 ニセコ町、三浦半島、京都市、白川村、沖縄県、釜石市

2021年 **那須塩原市**、佐渡、七尾市・中能登町、小豆島町、長良川流域、豊岡市、阿曽市、与論町、奄美大島、ニセコ町、京都市、釜石市



那須塩原市観光局が考える今後の展望

■ S 地域資源の再生・発掘と磨き上げ

→地域の自然・人・農業etc.を資源とする地域価値創造

- ・マイクロツーリズムの推進 →マイクロ資源の経済価値資源化
- ・サイクルツーリズム、リバーツーリズム、アグリツーリズム
→自然はタダからの脱却。自然の豊かさへのリスペクトマインドづくり
- ・地域住民と旅人がともに楽しみ、育む、温泉街、商店街の賑わいづくり
GO-KINJO（地域キャラと巡るコンパスアプリ開発）、ナイトタイムエコノミー
八弥夜バルしおばら、塩原温泉竹取物語、黒磯日用品市・・・
- ・地域の特色ある魅力的な農産品へのフォーカス・価値創造
- ・候補DMO登録の推進

や や や ハ弥夜バルしおぼら

～無料タクシーで塩原の夜を楽しく飲み歩き♪～

期間限定の夜間無料タクシー運行にあわせ、プロジェクト88の夜間営業店では『ハ弥夜バルメニュー』をご用意し、皆様のお越しをお待ちしております。



ハ弥夜バルメニュー

料理1品+1ドリンク=880円(税込)

- ・ハ弥夜バルメニューは、1店舗につき1日1回のみのおオーダーとなります
- ・料理や飲物の内容は参加店舗によって異なります
- ・ハ弥夜バルメニューご注文の方（各店舗先着100名様）に、「チームハ弥夜ポストカード」プレゼント

【期間】令和3年10月23日(土)～11月21日(日)

【参加店】プロジェクト88 チームハ弥夜

- ・グリル三笠軒（定休日：火木） 070-6628-6569
- ・焼鳥えくぼ（定休日：水木） 0287-32-2229
- ・SUZUの森 café（夜は土曜日のみ営業） 0287-32-2178
- ・榮太楼（夜は不定期営業） 0287-32-2155
- ・くだものやカフェ藤屋（夜は不定期営業） 0287-32-2314
- ・らめらめや（不定休） 0287-28-6360
- ・銚子屋食堂（定休日：火） 0287-32-2433

※休業日や営業時間は各店舗にお問い合わせください

ご清聴ありがとうございました

JTBF旅行動向シンポジウム2021

コロナ禍を 身近なファンづくりで乗り越える 大分県津久見市での取組

2021年10月29日

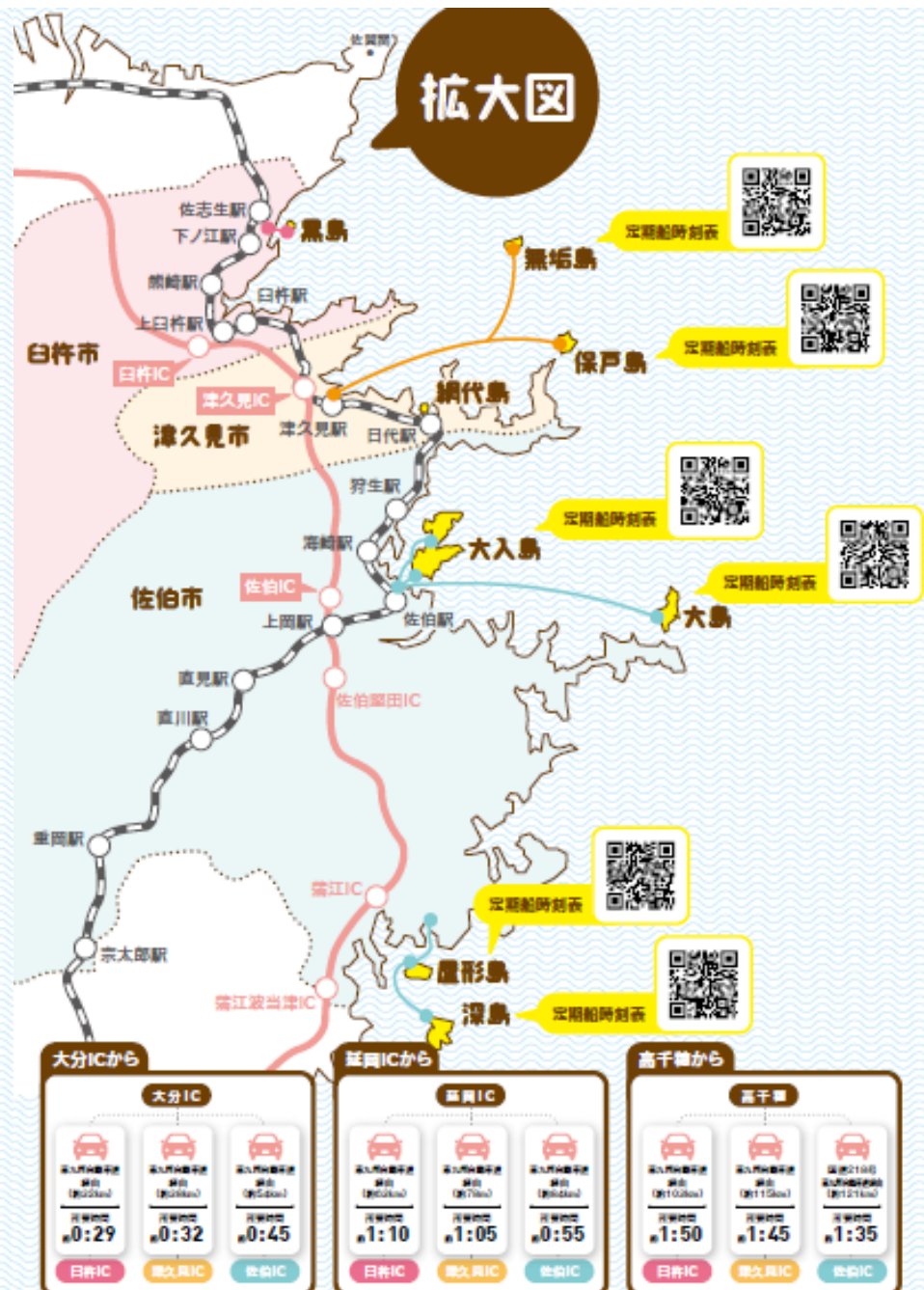
津久見市観光協会事務局長 紺田 猛
(主任研究員 吉谷地 裕 ※同前事務局長)



各種
交通アクセス
情報



扩大图



日本一の石灰石産出量、石灰石・セメント産業の集積

株式会社 戸高鉱業社
TODAKA MINING CO., LTD.

古手川産業株式会社

株式会社 鳥繁産業

株式会社 丸京石灰

太平洋セメント

小代築炉工業株式会社
KODAIRO KURUHI INDUSTRY CO.

太陽化学工業株式会社

大分海運株式会社

日鉄鉱業株式会社

大分鉱業株式会社

cotta

KYOWA industry
協和産業株式会社

米庄石灰工業株式会社

Oita Taiheiyo Kogyo



豊後の海と大地の恵みのまち「大分県津久見市」

伝統のマグロと豊後水道の海の幸

かつてマグロ漁日本一の歴史ある保戸島。津久見市内各所でマグロ料理が楽しめます。



九州一早い桜で知られる豊後水道河津桜まつり（2月）



子どもたちに大人気！
大型遊具があるつくみん公園



屋外型体験施設・つくみイルカ島では
イルカと一緒に泳げる（通年）



保戸島の独特の景観はファンも多い



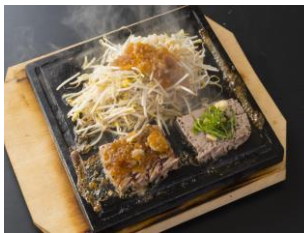
工場夜景ファンも多い



国内で2カ所しかない
「セメント町」



まちの各所からみえる
鉱山・工場・港湾



大人気！マグロステーキ



つくみ産養殖本マグロ
「ヨコヅナ」



名物
マグロちゃんぽ



マグロ漁の島・保戸島のマグロづくし



道場六三郎氏が絶賛した
郷土料理「津久見ひゅうが弁」



津久見のぎょうざ

津久見を代表するソウルフード！

豊後水道・津久見湾で捕
れる高級食材モイカ（ア
オリイカ）は期間限定！
漁師×漁協×料理人による
地産地消のキャンペーン
も好評！



津久見のみかん

リアス海岸の急傾斜
で育ったみかんは津
久見の代名詞！



セメント饅頭

ごま餡でセメントを表
現し、セメント袋をイ
メージしたパッケージ
のセメント饅頭。



津久見の
お土産

セメントソフト

石灰石・セメント産業
日本一のまち・津久見
のオリジナルソフト。



つくみのみかんの妖精 つくみん

津久見市観光協会の組織

- 任意団体 「津久見市観光協会」
 - DMO登録はしていない、法人格なし
 - 市補助金 + 指定管理料 + 直営店売上
- 役員
 - ・ 会長（市長）
 - ・ 副会長（商工会議所副会頭、飲食店組合長）
 - ・ 監事（市役所、商業協同組合理事長）
 - ・ 理事20名程度（市内企業関係者等）
- 事務局（7名体制）
 - ・ 事務局長 1名
 - ・ 1～3年スパンで異動する出向者（※市からの業務支援）
 - ・ パートタイム職員 5名（次長含む）
 - ・ うち10年選手が2名 ≡ プロパー
 - ・ 店舗専従スタッフ 1名
 - ・ パートスタッフ数名
- 事務所
 - ・ 津久見駅前観光案内所（約40㎡くらい）



新型コロナウイルスの影響、当協会の対策

2020年2月

イベントで危機感が早期に共有

2020年3月

比較的早い初動

テイクアウト企画について市に協力呼びかけ

開催中の「河津桜まつり」の集客が4割減

- 2月末には、既に関係者に危機感、3月イベント中止、飲食店への影響顕在化

市の見解「(SAHS対策の経験から)ワクチンができ、特效薬ができ、インフルエンザ並みになるまで、影響が長期化する可能性が高い」

- 会員にヒアリング(経営への影響不安が増大)⇒市や商工会議所と情報共有⇒各種支援を検討
- 飲食店のテイクアウトキャンペーンを企画調整(テイクアウトの呼びかけ)

2020年3月企画書

飲食店への声掛けチラシ

初期チラシ(社内コピーで配布)

市内飲食店メニュー持ち帰りプロジェクト

“持ち帰り” To Go OK! Oita! つくみ

・新型コロナウイルス感染症の影響により、市内飲食店に深刻な影響
特に「密着、密集、密接」を避けるべきとされ、屋内での宴会などは
厳禁され、各企業も自粛している
・状況改善の見込みは見え、誘客キャンペーンの展開は当面困難である
・飲食店の経営継続が危ぶまれている

対応策として、飲食店メニューの“持ち帰り”を促進

＜方法＞

- 飲食店メニューを持ち帰りを促進するため、観光協会がパンフレットを
製作し、市内企業等に配布(パンフレットにQRコードを貼付)
- 各参加店の店頭にも持ち帰りOKと掲載(右図 ※大分市内と共通)
- 事前予約制(※予約制は店舗毎に設定)
- 提供メニューは各店が得意に設定
- 使い捨て容器を使用、購入費用を観光協会が支援(※上限2万円/店)
- 食器にシールを貼り付け(例:がんばろう久留見!)

＜顧客のメリット＞

- 各家庭で料理の負担を軽減(気配転換)
- 店内に長時間滞在せず、感染リスクを軽減
- 複数店舗が参加することで、選択肢が増える
- 食費を安く済ませる

＜飲食店のメリット＞

- 観光協会が広告宣伝する(バナーなど)にも関係
- 持ち帰りのため、配達コストがかからない(店舗により配達可)
- 事前予約により、ロスが抑制できる
- 容客購入の制限を回避しながら、持ち帰り対応の試行ができる

＜参加店舗＞

- 市内各店(会員・非会員を問わず)

＜スケジュール＞

- 4月上旬 参加店舗への説明会
- 各店舗で準備(食器購入ほか)を行い、準備ができたら
そこから段階的に対応開始
- 観光協会SNSや手作りチラシでPR

＜店頭表示用パンフレット＞

もちろとOKをお知らせ、
こちらからOKをお知らせ、
ひとりでわかる持ち帰り、

持ち帰り OK TO GO OK! OITA!

企画: 県山山出版、パラポラ
※大分市商工会連合、大分県観光協会連合、
大分県内各自治体等が協力、関係機関中

＜今後の展開＞

- 観光協会が高い「持ち帰り」は発展可能性がある
- 今後、好まれる対応を模索し、市内イベント実施等の併用も活用

TO GO OK! OITA つくみ!

飲食メニューお持ち帰りキャンペーン

「新型コロナウイルス」の感染拡大で、市内の飲食店におきながら影響がでています。また、各ご家庭におかれましても、いつもと違う生活サイクルや不安で、大変お疲れの方も多くいると思います。

そこで、津久見市観光協会は、お店のPRの味をご家庭で味わいながら、市内の飲食店も応援できる新企画、「持ち帰りキャンペーン「To Go OK! Oita つくみ」」をスタートします!

いつもはお弁当の方も、毎日の夕食をお悩みの方も、お仕事でクタクタの方も、PRの美味いご飯で、心と身体に栄養補給をしましょう!

＜概要＞

- イベント名: 「TO GO OK! OITA つくみ」
- 期間: 2020年4月6日～6月末日まで
- ※準備ができたお店からは、はじめています。今後さらにお店がふえる予定です。

＜内容＞

- 飲食店からテイクアウト(和・洋・中など、たくさんのメニューを取り換え)
- テイクアウト可能な店舗に「ホスター」を掲示(※右の図)
- Instagram投稿を募集! ハッシュタグ #つくみテイクアウト

＜主催・問い合わせ先＞

- 津久見市観光協会 持ち帰りキャンペーン係(担当: 河野、紺田、吉谷他)
- 電話: 0972-82-9521 FAX: 0972-82-7106

※本企画の趣旨に賛同・協力いただける団体様、企業様はぜひお声がけ下さい。
(従業員のみさまへの声かけ、パンフレット等の配布をお願いできれば幸いです。)

持ち帰り OK TO GO OK! OITA!

TOGO!OK OITA つくみ!

※掲載はすべて初版掲載です

店舗名	電話	営業時間	定休日	おすすめ①	おすすめ②	おすすめ③	注文開始	PRコメント
ゆの庵	0972-82-0008	11:00-14:00	不定休	ミックスフライ弁当 700円	電話予約弁当 650円	前日		
足ルキーウェイ	0972-82-3371	10:00-18:00		お好み焼き(正味、焼肉風) 650円～950円	焼きそば 650円	かつ丼 850円	当日	
Dining Bar 1973	0972-83-9599	18:00-late		エビマヨ 900円	からあげ 550円		当日 12時～15時	他のメニューあり
ラーメン屋 藤原	0972-82-3493	10:30-20:00	不定休	焼きそば 550円	焼きそば 550円	餃子10個入 500円	前日 20時まで	他のメニューあり
華うさぎ	0972-82-2427	10:00-14:00 17:00-22:00	木曜日	華うさぎランチ 972円	華うさぎ定食 972円	ロコモコ 972円	当日 11時～	他のメニューあり、 朝の差し入れで営業 時間も異なります。 ご利用の方、来店し た方へのご挨拶です
チャイナレストラン 佐藤	0972-82-6577	11:30-14:30 17:00-21:30	火曜日	お日曜ランチ 913円	韓国定食 880円	豚骨 1078円	当日	ほかのメニューあり、 ランチでも、お昼 に持ち帰りに対応は 可能です
新築久保し	0972-82-2411	10:00-21:00	不定休	焼きそば定食 918円	レタス巻き 918円		10時～20時	他のメニューあり
三幸亭	0972-82-5420	11:30-14:00 17:00-21:00	火曜日	にぎり・ちらし 1290円	上に盛り・ちらし 1890円	焼肉 750円	いつでも	
二代 寿々	0972-83-8024	16:30-24:00	月曜日	与作かんぱん 600円	寿々中食そば 600円	焼肉定食(お肉、お肉) 750円	前日 23時まで	当日注文が来ます。 お昼の営業時間外 に注文が来ます。 お昼のメニューは お昼のメニューは お昼のメニューは お昼のメニューは
味好亭	0972-82-1524	17:30-21:00	月曜日	A6ランク焼肉キムチ 950円	ホルモン 600円	焼肉 750円	前日 20時まで	当日注文が来ます。 お昼の営業時間外 に注文が来ます。 お昼のメニューは お昼のメニューは
つくみのキッチン	0972-82-1180	不定休		ひしこ焼肉 500円	ちらし焼肉 500円	焼きそば 561円	前日 午前中まで	当日注文が来ます。 お昼の営業時間外 に注文が来ます。 お昼のメニューは お昼のメニューは

新型コロナの影響、当協会の対策

2020年4月

影響長期化を視野に観光戦略との整合も視野に取り組みを開始

飲食店テイクアウトキャンペーンをスタート

- 4月1週より市内飲食店のテイクアウト情報を取りまとめ、市内企業を訪問して弁当テイクアウトの御用聞き、苦情対応
- 4月末に**カラーパンフレット**を折込、ロゴマークは地元出身デザイナーの提供、1か月で1万食達成（食数調査）⇒**参加店増**
- LINE Official Account**を活用した連絡体制を構築
 - チラシデータ、校正のほか、補助・支援情報の共有でも活躍（大幅なコスト削減※情報が手元に情報が残る、双方向・非同期コミュニケーションツール）
 - 1件1件回って説明、非会員もメンバー追加



- 現在も継続発行、店舗数も維持
- メニューが洗練（時節に合わせた内容へ）
- キャッチコピー、提供価格など観光協会への相談も増加

※大分県「飲食店を通じた感染拡大防止対策支援事業費補助金」に（遡って）採択

大分県との密接なコミュニケーション（状況の共有、必要な措置などの提案）

2020年5月

地元企業、まち
づくり団体ほか
への協力・連動
企画を呼びかけ
⇒運動化

企業団体からの寄付（寄付金、容器、消毒、花）受付

- 毎回、地元紙の地方欄で記事化、地元まちづくり団体の取組も活発化（YOUTUBEでオンライン試食会を動画配信、スナック応援先払いプロジェクトほか、活動が広まる）
- 直営店がコロナ休業を余儀なくされたため、パート従業員の雇用を守るため、マスクを自社製造・販売



フローリスト高野様 花の協賛



うみかゼラチン様 試食会ビデオ



飲食店有志から感謝のお振舞い



cotta様より容器の寄贈



津久見市職員友愛会より協賛



消毒剤の寄付



C-labo tsukumi様のスナック応援

2020年6月

事業者、国土交通省と相談の上
事業開始

市がコロナ対策
費から助成決定

テイクアウトタクシー&市のタクシー助成開始

- 国土交通省の特例措置を活用し、テイクアウトタクシーを開始。市がこれに対して助成措置（1,000～2,000円）



市の食品衛生セ
クションと連携

飲食店のための新型コロナ対策セミナー

（主催：津久見市、企画・実施協力：観光協会）

- 具体的・現実的な対応ノウハウを向上するため、飲食店を対象に、感染症専門医を招いて、座学＋各店舗で実地研修を複数回実施



つくみイルカ島
との連携

イルカ島場内・駐車場にライブカメラ設置

- 利用者が来訪を判断できる材料になるように混雑状況の「見える化」

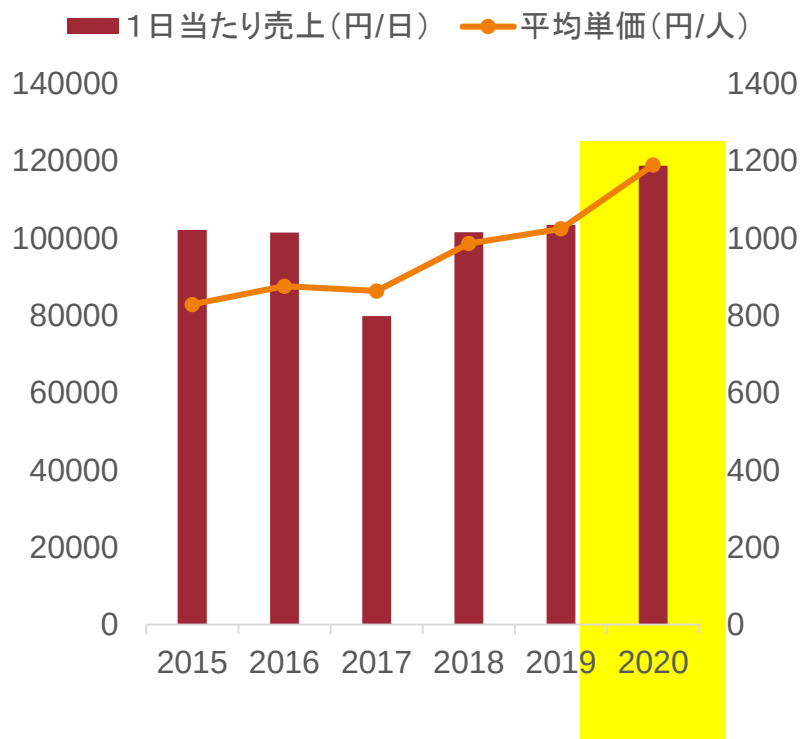
※駐車場は観光協会が指定管理



2020年7月

「津久見ひゅうが丼キャンペーン」を開催（7/23～）

- 各店の理解を得て約1か月短縮して開催
- 大分県「安心はおいしい」プロジェクト（2020年6月～）を県内で先駆けてキャンペーン採用。参加全店舗が活用。
- 1日当たり売上、平均単価とも過去最高**
 - タイミング+店舗の信頼+コロナ対策の安心感



津久見の
新定番!
今年も開催!!

まぐろの町
津久見
ひゅうが丼
キャンペーン
- Hyuugaden Campaign -

おおい
グルメグランプリ
2年連続
金賞
受賞

保戸島発祥の
まぐろを使った
伝統の味

マダガスカー

最高の海の幸を
賢訳に選んだ
本場の味

新しい生活様式を
お持ちして
います!

期間
限定
7月23日(金)～9月30日(水)

ひゅうが丼を食べて応募すると抽選で豪華プレゼントが当たります! つくみ ひゅうが丼 情報

大分県津久見市観光協会

安心はおいしい

飲食店が食中毒を防止し、安全を確保するための取り組み。消費者の方にはその結果を知らせてあげたい。

入店時	客席	サービス	会計
消毒の徹底を しています。	換気設備を しっかりと稼働させています。	お客様に大きな声 で話していません。	お客様に待たせず 迅速に会計を行います。
★★★★	★★★★	★★★★	★★★★
従業員	店舗の衛生	トイレの衛生	その他の衛生
従業員の健康管理を 徹底しています。	定期的に消毒を しています。	定期的に消毒と換気を しています。	衛生管理 徹底しています。
★★★★	★★★★	★★★★	★★★★

★☆☆ 一歩以上改善している ★☆☆ 一歩改善している ★☆☆ 大幅に改善している

大分県

飲食店が「新しい生活様式」ガイドラインに沿った感染防止の取組
診断・POP作成ツール。

2020年9月

公式通販サイト「ツクミトドケル」の目玉商品として 「おうちでひゅうが丼セット」を発売

- 公式通販サイト「ツクミトドケル」を7月より運用開始（地元ITベンチャーと開発）
- 「ひゅうが丼」を消費者から忘れられないよう、地元水産加工会社カスガ水産と共同で、通販冷凍商品を開発
 - キャンペーンやイベント、マスメディア連携の目玉商品に
 - プロモーション動画を自作

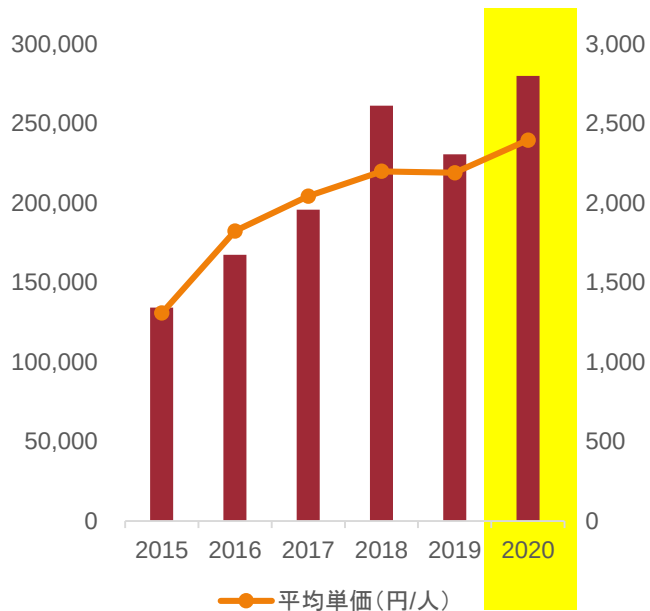
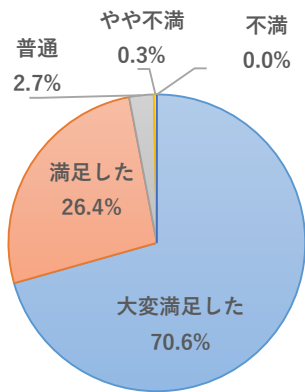


【観光協会で作成した動画】

2020年11月

「津久見モイカフェスタ」を開催

- ひゅうが井と同様に各店の理解を得て約1か月短縮して開催、大分県「**安心はおいしい**」プロジェクト（2020年6月～）を県内で先駆けてキャンペーン採用。参加全店舗が活用。
- 12月よりコロナの影響を受けたため、期間中の総食数は前年に比べ下がったものの、満足度、平均単価は過去最高**
 - 元々の知名度と信頼＋コロナ対策の安心感＋GOTOEAT＋津久見市プレミアムクーポン（つくぽん）



●→平均消費単2,386円(前年比+18%)、満足度97.0%(前年比+7%)、大変満足70.6%(前年比+6%)



2021年6月

「食べて応援！ウチメシTSUKUMI（弁当合同販売）」を開催

- ・ 市役所での弁当合同販売
- ・ 元々弁当を出せる事業者が少なかった
- ・ 講師は、保健所が手一杯で対応できなかったため、テキストのみ提供いただき、**地元のベテラン弁当店経営者を講師**として、「食品表示ラベル」の研修を複数回開催
- ・ ラベルは観光協会が**有償で作成**（3シート200円）
 - ・ 「弁当」を出せる事業者が増加⇒将来の「道の駅」構想へ



【ウチメシ販売会場】

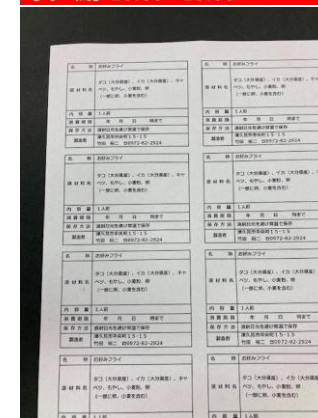


【食品表示ラベル研修会の様子】



テイクアウト可能なお弁当など
市役所にて販売します！
ぜひ夕食にいかがですか？

【日にち】6月毎週水曜日
（2日、9日、16日、23日、30日）
【時間】16:00～18:00



【有償で作成した食品表示ラベル】

コロナ禍での当協会の取組の要点

- 当市の観光消費の要である飲食店を軸に、目の前の対策+戦略的視点をもって取組
 - **市と密接であることを強み**にした（市長が会長、市役所職員が業務支援）
 - **現場と密接（飲食店、菓子店、観光施設ほか）であることを強み**にした（日ごろの交流・雑談、キャンペーン、商品開発、メディア対応…）
- 自ら動き協力を求めた（巻き込んだ）
 - **御用聞き、初期品表示ラベルづくり**、事業者等の補助金申請支援、市県などの事業活用、メディアを通じたコロナ対策の情報発信など**出来ることを考え、行政が出せないスピード感をもって動くことを意識した**
 - **動きを共有・公開**し、市、団体・企業、まちづくり関係者などの取組を応援し、**連携・協力を図った**

今後の観光協会に求められる役割？

- コロナ禍を通じた手ごたえ ⇒ 「**存在感**」が増した
 - ・ 観光誘客とプロモーションの前に「足元の事業者」「コミュニティ」を大切にする
 - ・ コロナ禍を通じて 協会会員増
 - ・ 協会に 立ち寄る人、問い合わせ 増
 - ・ 関係者からの協会への前向きな評価増
- できること（強味）を考えて周りと一緒に動く ⇒ **地域ぐるみの動き**が生まれた
 - ・ 体制・財源が脆弱でも、武器があると強い
 - ・ 「手」が動く職員、市行政とのつながり（業務支援、指定管理など）、市OBの人脈（元総務課長）、飲食店との強い人脈…
 - ・ 他者ができないこと、協会がやった方がよいことを大切にする

第31回旅行動向シンポジウム 資料（主催：公益財団法人日本交通公社）

本資料の引用や転載をご希望の場合は、下記までご連絡ください

なお、外部講師作成資料の引用や転載はご遠慮ください

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部 企画室（zaidan_info@jtb.or.jp）